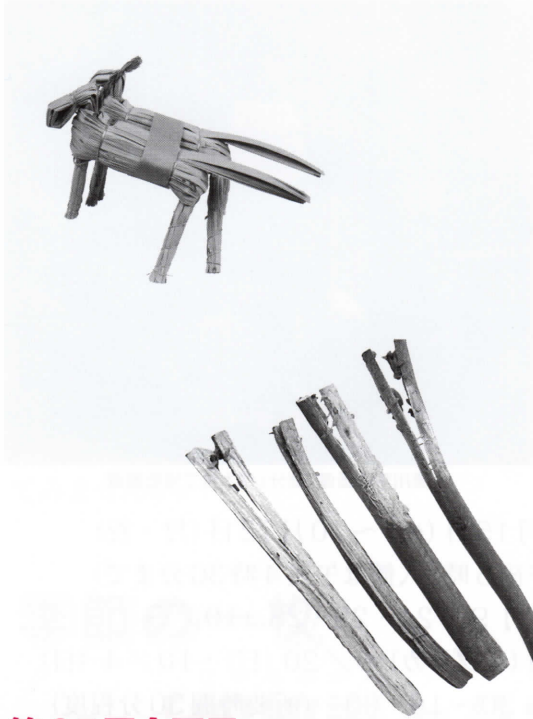


小山市立博物館

# 博物館だより

2015  
9.15

# 61



## これはなに？



第65回企画展

## 「小山歳時記

## ～くらしと年中行事」

平成27年10月24日(土)～1月11日(月)

これらはすべて年中行事に使われたものです。家や地域で受け継がれてきた年中行事は、現在ではその多くが形を変え、あるいは失われ、すでに記憶から消えつつあるものも少なくありません。しかし、年中行事には、土地の自然・歴史・生業などさまざまな要素が反映されており、その土地を深く知るための大きな手がかりにもなっています。この展示では、かつて人々のくらしと共にあった年中行事を、関連資料や再現展示で紹介し、その意味を改めて振り返りながら、そこに映し出される先人たちのくらしや込められた思いを知ること、貴重な無形文化財である年中行事を見直す機会となればとを考えます。

左上：マコモウマ お盆のとき、先祖の霊の乗り馬として盆棚に供えられた。きゅうりとなすにオガラで足をつけた馬を供える家が多い。

左下：カコバシ 正月15日の小正月、小豆粥を神仏に供えるための箸。スルデの木でつくられ、先端部分は粥がつきやすいように割れ目が入れている。

右上：ササガミサマ 2月と12月の8日に家のニワなどにつくって立てた。3本の笹の先を結わせ、そこに赤飯やうどんを上げた。

右下：ワラツト 初午の日につくるシモツカレや赤飯を神仏に供えるための容器物。束ねた先端のワラの中に供物を容れた。

### \* 関連講座 \*

#### 「もちつき体験」

12月20日(日) 午前11:00～12:30 ※参加自由

#### 「三二門松作り」

12月26日(土) 午前9:00～12:00

【定員】15名(抽選)

【対象】小学生以上、但し小学生は保護者同伴

【材料費】500円 ※はがき申し込み12月1日締め切り

開館時間：9:00～17:00(入館は16:30まで)

休館日：月曜日(祝祭日は除く)、毎月第4金曜日(館内整理日)、祝日(振替休日は除く)の翌日、年末年始(12/28～1/4)

入館料：大人200円(100)・高大学生100円(50)・中学生以下無料 ※()内20人以上団体料金

お問い合わせ 0285-45-5331



すべては「小山評定」からはじまった。



小山市立博物館特別展

## 徳川家康公と小山

慶長5（1600）年、上方で石田三成らが挙兵したとの報をうけ、徳川家康と諸将が下野国小山で軍議を行いました。この軍議が関ヶ原合戦を東軍勝利に導いたとされ、後に「小山評定」として広く世に知られるようになります。

今回市立博物館では、徳川家康公の没後400年を記念した特別展を開催します。「小山評定」や小山御殿、家康が神として祀られた日光東照宮関係資料など家康公と小山に係わる資料約30点を展示します。金雲の隙間から東照宮を見下ろす構図の美しい日光祭礼図屏風や、日光街道を描いた日光道中絵図などをじっくりご覧いただけます。

この機会にぜひご来館ください。



徳川家康画像（部分）栃木県立博物館蔵



徳川家康所用具足  
（レプリカ）

- 【会 期】平成27年9月15日（火）～10月12日（月・祝）  
【開館時間】午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）  
【入 館 料】無料 【休館日】9/24・25・28、10/5  
【体験講座】甲冑着用体験（レプリカ）9/20（日）・10/4（日）  
両日とも13：30～16：00（所要時間30分程度）  
定員15名程度 大人用・子供用があります  
※ 要予約 電話もしくはメールにてお申し込み下さい。

県内最大級の古墳です

## 琵琶塚古墳の発掘調査

琵琶塚古墳は、大正15（1915）年国史跡に指定されました。現在は古墳整備のため、平成25年度より発掘調査を進めています。



発掘調査では、二重にめぐる堀や墳丘の埴輪列<sup>はにわ</sup>などを確認しています。

埴輪列は厚い堆積土の中で良く保存され、立てられた当時の状態で出土しています。円筒埴輪を中心に数本おきに朝顔型埴輪を配し墳丘の裾に立てられています。埴輪は口縁部が密着するよう隙間なく立てられていました。このような埴輪列が、墳丘の後円部や前方部、くびれ部などで確認されていることから、墳丘全体に埴輪列が廻っていたと考えられます。

琵琶塚古墳の発掘調査は継続して実施される予定で、今後の調査で新たな発見があることが期待されます。



## 星空の美しさ

移動式天体望遠鏡搭載車「ほっしー★OYAMA号」が平成18年度に導入されて以来、当館では毎月第2土曜日に「天体観望会」を実施しています。毎回多くの方に参加していただき、星空を見ていただいています。星空を見上げるとたくさんの輝く星ぼしがありますが、とても明るく輝く星もあれば、よく見ないと分からないくらいひっそりと輝く星もあります。また、よく見ると赤、青、オレンジ、白など星はそれぞれ違った色をしています。まるで宝石のようです。しかも星空は、季節によっても違った表情を見せてくれます。一晩の中でもその表情は変わっていきます。同じ星空は二度と見ることはできません。

私たちのまわりに広がる星空には、地球の仲間の星もあります。もしかしたら私たちの知らない生き物がいるかもしれません。その生き物も同じ星空を見ていることでしょうか。また、太陽のように自ら光を発している星もあります。その星はとても遠くにあるため、地球に光が届くまで何百年、何千年もかかることもあります。私たちが見ている星の輝きは、私たちが生まれるずっと前の光なのでしょう。そのようなことを考えながら、星空を見ているとこれまでと違った感情が湧いてきます。これからの季節は、空気も澄み、星たちが一層輝きを増します。月に一度の夜のひととき、私たちと一緒に星空を眺めてみませんか。

## 季節の一枚

### じゃもんがん 「蛇紋岩とハヤチネウスユキソウ」

#### 「マグネシウムイオンは、植物の敵」

マグネシウムイオンは、植物の根が水を吸い上げるのを妨げる働きがある。

#### 「マグネシウムを多く含む蛇紋岩」

蛇紋岩は、マグネシウムを多く含み、風化されても土壌になりにくく、植物の栄養素になる窒素やリンも乏しい性質がある。

#### 「蛇紋岩を有する早池峰山」

早池峰山(標高1914m)は、蛇紋岩が持つ特異な性質と雪が少なく、冬には土壌の水が凍結するという厳しい気象条件が重なり、一般的な植物はなかなか進出できない。

厳しい環境の中でしか生育できない「氷河期の生き残り」とされる「ハヤチネウスユキソウ」はそんな厳しい条件の中で生育している。夏が来れば、キュッと伸びた茎に白い花を手をひろげたように咲かせ、登山者を迎え、可憐な姿を見せる。

その裏に隠された生命の力強さを強く感じる。一つ一つの生命に自然に適応してきた進化の過程がある。いったいどのように生育できる能力を獲得したのか興味をもった。

私たちの見るラムサール条約湿地登録渡良瀬遊水地にも、絶滅危惧種を含む多くの草花がバトンを渡そうと必死に生きている。遊水地を眺めながら、生命の営みに想いにふける時間をもつのも贅沢な時間だろう。





## 甲冑体験教室

小山市は「小山評定」に参加した武将たちの複製鎧10領をさまざまな場面で活用していますが、そのひとつに小学生の甲冑体験教室があります。平成27年度の1学期には市内3校が実施しました。数こそ多くはありませんが、話が徐々に広まり、注目度も上がってきています。

授業は、まず甲冑の大まかな歴史について小山氏や小山評定など小山の歴史を交えながら説明し、そのあと着用体験に入ります。各グループ4～5人になり、一人ひとり順番に、グループ内で協力し合いながら着付けていきます。はじめは博物館職員の説明を聞きながら、ひもを結ぶ手もおぼつかない感じですが、児童の皆さんは慣れるのも早く、順番の最後になると5分もかからず仕上がってしまいます。完成したら太刀を抜いて担任の先生のカメラの前で武将のポーズを決め、写真に収まります。複製鎧は大人用なので、大部分の皆さんはカブトに顔が半分隠れてしまったり、手よりもコテの方が長かったりとうまく着こなせてはいないものの、とても素敵な笑顔で勇ましくポーズを決めていました。

体験が終わって、「とても重かった。」「昔の武将たちはこれよりもっと重い甲冑を着て戦っていたと思うとすごい。」「貴重な体験ができた。」などの感想をたくさん聞くことができました。今後ますますこの甲冑体験教室を実施する学校が増え、「開運のまち小山」の歴史に誇りを持つ児童が増えていくことを願っています。



### コラム 博物館職員雑記帳

## 文化財調査の効用

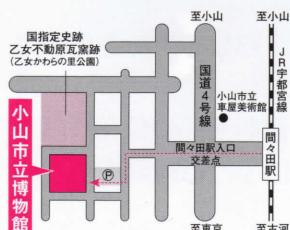
歴史と文化の発信係係長(学芸員) 佐久間弘行

教育委員会文化振興課に在籍していたとき、平成16年から4年をかけて、市の文化財保護審議会委員(当時)でいらした北口英雄先生や県立博物館のご協力により、市内の寺院・堂庵等に所在する仏像や仏具の悉皆調査を実施しました。各寺院のご住職や堂庵を管理されている地域の皆様には、ご多忙にもかかわらず調査に大変なご厚意をいただき、感謝申し上げます。報告書にまとめた成果は、市内の仏教文化の展開や地域の文化財の現状を把握する上で、貴重なものであったと考えています。地域にとっても、幾世代を超えて伝えられてきた文化財と身近な歴史を、あらためて振り返るきっかけとなつたのではないのでしょうか。調査後、とくに各地の堂庵において、防犯対策が向上したようです。文化財が地域の人々を結ぶ拠り所として、未永く、守り伝えられることを願っています。

## 寄贈者芳名

次の方々から貴重な資料をご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

■ 柴崎 ミチ子(小山市) 蚊帳 2点 ■ 小池 敦子(小山市) 写真 3点 掛軸 1幅



発行年月日 平成27年9月15日  
 発行 小山市立博物館  
 〒329-0214 栃木県小山市乙女1-31-7 (JR宇都宮線間々田駅西口下車徒歩10分)  
 電話 (0285) 45-5331 FAX (0285) 45-5247  
 H P <http://www.city.oyama.tochigi.jp/kyoikuiinkai/hakubutukan/>  
 印刷 株式会社ダイサン小山